

中道北小学校移転 下曽根西自治会説明会 会議録

日	時	平成28年8月8日(月) 午後7時30分～8時50分	
場	所	下曽根西公民館	当日参加者数 39人 (報道含)
教育委員会	長谷川教育長・数野教育部長・嶋田教育総室長・深澤総務課長・村田総務課課長補佐・土橋総務課係長・鷹野総務課係長		

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 住民説明会の経過の説明
- 4 候補地とその理由の説明

- 5 意見交換

住民 これまでも住民説明会に行ったが、教育委員会と住民で平行線であると感じている。田富の小学校も移転ということで現地を見たところ、県道と釜無川に挟まれたところにあるが、距離が離れている。リニアについては100mくらいのところに建設すると聞いている。

騒音や磁界のことも大切であるが、子供を育てるとなるとやはり、環境が大切である。騒音・磁界については物理的に対処できるが、環境(景観)についてはそうはいかない。景観の良いところでのびのびと学校生活を送らせたいと思う。

住民 先般、北小学校の父兄に説明会を行ったということであるが、今回の説明会は、意見交換会と聞いていたが、教育委員会の示している候補地案のお願いなのか、それとも意見を聞いていく中で、中央道の北側と南側でどちらが良いかということで、候補地案の場所から南側にも変わることも想定されるということか。

教委 他に適当な場所がないのであれば、協議の対象にしてけると農政サイドが言ってくれているが、皆さんが反対していることが、他に適当な場所がないという理由になるかという問題がある。教育委員会としては、中道北小の学区の方が、教育委員会の候補地案に対して大方反対ということであれば、それは考えなおさなければならぬと考えている。なので、今回、自治会ごとにこまめに、なるべくたくさんの方から意見を伺う説明会を開催させていただいている。

住民 出来るだけたくさんの方の意見を聞いて決めていくということは分かるが、農振の関係で、南側を考えた場合、中央道より、国道の土手よりであれば、農振農用地の辺部である一番端のところであるので、土地利用上から見れば教育委員会の案の場所が一番望ましいかも知れないが、将来の子ども達が良い環境で勉強できる場所となると、中央道を挟んで南側であれば、リニアの音、磁界が軽減されるのではないかと。どこの場所が良いかということで、教育委員会でも配慮して現状の小学校の近い場所ということでそれは妥当かも知れないが、中央道の南側であっても、100m～150m位しか差がない。北側と南側の資料があるが、児童館につい

でも必要であれば、新しい小学校のところに建てればよいのではないかと思います。

いろいろ出した意見に誠意を持って答えてくれるのかの約束と、提案であるが、個別に意見の調査(アンケート)をして決めるのが平等ではないかと思う。農振の問題を考えるよりかは、子どもを育てる教育が大事であるということを入れて農政サイドと協議をしてほしい。

教委 農振の話であるが、今回、自治会を回らせていただく中で、本当に教育委員会の示した候補地案が駄目なのかなどの意見を伺い、本当に駄目ということであれば、教育委員会としても協議をしなければならないと考えているので、皆様のご意見をしっかりと把握していきたいと考えている。

住民 リニアのスケジュールに合わせて急いでいる感じがしている。先程から農振の除外という話が出ているが、中道のまちづくりをどうしていくのか見えてこなくて、単に学校を移転すればよいということが見える。いずれにしても田んぼの真ん中に学校を建ててどうするのかと思う。まちづくりとすれば町の近くにあったほうがいい気がする。

景観の話からいけば土手から離れたほうがいい。父兄の意見は児童館の近くがいいということを考えれば、農振の関係があるが、都市計画の地区計画の変更をすれば何とかなるのではないか。やはり町の近くにあり、賑わいの中に学校がある。

それから児童館も近くにあって父兄の方もそこに預けられるという環境が良いのではないかと思います。農振がそんなに難しいのか、時間がないから農振は無理だと聞こえる。

教委 確かにリニアが平成39年に開通することが決まっている。教育委員会がそれを無視してというわけではないが、調整しながら決めていければよいが、平成39年というのは決まっており、リニア自体の工事も始まっていくので、出来るだけ早く移転場所を決定し、しっかりとした教育環境をつくっていききたいと考えている。あえて急いでいるという訳ではないが、出来るだけ多くの意見を聞きながら決めていきたい。

まちづくりという部分については、具体的な計画等はないが、いずれ中央道南側についてもインターの近くであり、リニア駅が近いということで、全体的にまちづくりを考えていく場所であると思っている。具体的に決まっていないので詳細は答えられないが、出来るだけ早く学校環境をつくっていききたいと考えている。

教委 課長の説明の中で、まちづくりの可能性を説明させていただいた。資料の8P周辺開発という項目であるが、中央道北側(候補地案)については、今後開発される可能性は残しているが、面積的にあまり広くないので、大規模開発はしにくいと考えている。長期的に見て環境変化が少ない場所であると考えている。

対して中央道南側については、地元の方々のご存知だとは思いますが、何度か開発の検討がされており、知事が代わり、リニア駅を中心としたまちづくりを進めていく検討をしているということなので、中道の地域もまちづくりの範囲に入っていくのではないかと考えている。このようなことも、候補地案を示したひとつの要因となっている。

例えば、中央道のすぐ南側の土地で学校を想定したときに、中央道を背負って校舎とういうわけにはいかないなので、校舎は校庭の南側となり、南側に建てた場合に、校庭にいることを考

えると三方、特に南側は校舎でも遮られ、インターの方も土手が高いので周りを囲まれた地域になってしまう。

また、全国的に都市部の学校で起こっている問題として、学校が先にあったが、そばにビルなどが出来てくると、学校が覗かれてしまうような感じになってしまう。なので、周辺が商業用地、事業系のものとして開発されてくると様々な問題が生じやすいということも考えている。

住民 小学校の問題の話し合いで農地がどうのこうのというのは二の次であると思う。小学校の子ども達がどのような経路で通い、どのような環境で勉強を行うかということと話合っていると思う。羽田空港の近くの人達はどうなるのか、うるさいところで勉強している。中道だけがそんなに自然を守りながら勉強しなければならないのか。子どもを守るために話合っているのであるから農地の話は二の次であると思う。

住民 当然小学校の子どもを安全に勉強させるということは大前提である。70年以上、自然環境の良いところで勉強をしてきた。そこには悪い子どももでたかもしれないが、すばらしい子どもも生まれたと思う。まずは、子どもの教育をする場所として、現状よりもっと良い場所で勉強する場所を探すのが教育委員会、教育現場にいる人達ではないかと思う。北側と南側では、南側の方がリスクは少なくなるのではないか。

周辺の開発の可能性が資料にあるが、それは小学校をつくり規制をすればよいことではないか。都市計画法など何があるか分からないが、高い建物を抑えるなど出来ないことはないと思う。30mのリニアの高架、南側に中央道、西側には国道の土手があるなど、圧迫感があり、子どもを伸び伸び教育させる場所としてよいのかどうか。

先ほどの、東京の真ん中や駅の近くの学校の話も出たが、そういうものと比較すれば確かにわがままかも知れないが、これまでの環境は継続して引き続き子どもや孫にも教育を受けてもらいたい。それは北側よりか南側である。

住民 小学校の統廃合が続いている中、移転せざるをえないのであれば、現在考えられる技術の創意工夫をした日本一、世界一の小学校をつくるくらいの意気込みがないと住民は満足しないと思う。お金も必要であるが、知恵、アイデアが出てこないとよくないと思う。

南に移った場合、南にはいろいろな可能性があるところであるがその地図が描けていないので、小学校を持ってこられると困るということではないか。北側はもう他に考える余地はないと、だから学校を置いておいても無難であるということであると思う。

より良い学校、自分達の子供、孫、将来にわたって子ども達を育てていくということが第一にくるべきであると思う。それを基本にして財政の問題、設備、交通の問題などを考えてもらえば。仮に候補地案でやらざるをえないのであれば、それなりのもの、それ相当のものをプラスチックで最新式のものを何かやるとか、防音などは今の技術であればいろいろなことが出来るので、もう少し住民の希望のかなったものを出してほしい。基本は教育ありきで進んでもらいたい。

教委 場所の選定については、皆さんの意見をしっかり聞きながら考えていくことは変わらない。

また、決まった場所において、保護者の皆さんなどから、学校の機能等を聞く中で建設していきたいと考えている。それが最善かどうかはこの場ではいえないが、そのような努力をして、より良い学校環境をつくっていききたいと考えている。

住民 三方に囲まれているところ以外で皆さんの意見が出てきていない。そうでなければこの問題は解決しないのではないかと。他にどこか良い場所があるのであれば出さないと教育委員会でも進めていけないのではないかとと思う。

西区は西区で大多数の意見として集約したらよいと思うがどうか。そうしないと意見がまとまらないのではないかと。

住民 集約はできないと思う。

住民 西自治会として集約することは難しいので、アンケート調査をして、候補地案について賛成か反対か結論的なものを出して、その結果の方向で進みたいという形の中で、先程の日本一の小学校、3階にプラネタリウムを作るなど、近代的な宇宙を目指すような小学校にしてもらいたいという、条件闘争をやってかなければならないと思う。

説明会を何回やっても平行線であると思うので、住民がどのように考えているのか考え方を把握することが大事であるので、アンケート調査を提案する。

住民 中央道の南側の方がよいと思っている。南側に建設するとして、校舎が南側、グラウンドが北側という配置については確定しているのか。

教委 校舎の配置については確定ではなく想定である。もっと良い建て方があるのであればそれは可能性としてあると思う。

中央道南側に決まるのであれば、騒音の対策など考えていかなければならないと考えているが、あくまでこれは確定ではない。

先程のアンケートについてであるが、確かにその方法もあると思うが、教育委員会としては、皆さんがこの説明会に参加していただき、関心をもってもらっているその方達からの意見を聞いて判断していくべきではないかと思っている。アンケートを配り、関心のない人までも回答していくことになり、それをもって判断してよいものなのかという部分もある。その代わりにこの説明会で意見を聞き、判断していききたいと考えている。

住民 教育委員会として候補地案を示し、新聞紙上をみると市長をはじめこの場所でいきたいとなっている。その中で、南側の方が良いと意見が出ているが、それを教育委員会として集約することが出来るのか。

教委 そのために、参加していただいている一人一人の意見を聞き、皆さんがどのような考えを持っているのかということ把握し、判断していききたいと思っている。

住民 全自治会で説明会をして答えを出すようなかたちになっているがそれは出来ない。それは個

人的に土地の所有者達との関係などがあり、あそこの土地の所有者は北小学校に土地を提供したいという人が多い。このような関係もあるから、ひとつの自治会としてこういう形を取りたいということは出来ない。

30余名来ている意見を全員から聞いて答えを出すというかたちになると、なかなか難しい問題であると思うので、アンケート調査をし、その結果を踏まえながら決めていかなければならないと思う。

甲府市との合併の問題で最終的には住民投票をして笛吹市になったが、投票の結果がいろいろあり甲府市となった。最終的にまた住民投票するのかという中で、大変であるからやらないということでアンケート調査をし、小差で甲府市となった。

何回説明会を行なっても一緒であり、最終的にはそういう方法しかないと考えているのでよく検討してほしい。

教委 意見として受け止めさせていただく。先程も説明したが、ここに参加している皆さんは関心を持ってきている。その意見をしっかり把握したうえでの判断が必要であると思っているのでご理解いただきたい。

住民 声が大きいかではなく、多数の意見を尊重する中で判断していくのであれば、客観的に判断できるのはアンケート調査であると思う。

3回説明会に参加したが、候補地案周辺の人達の声が大きく、下曽根地域の方のほうが紳士的で声が小さかった。最初は、白井と下曽根でどちらに学校を持つてくるのかという話になると思ったが、その辺は教育委員会も配慮して、候補地案を示したと思うが、最終的に場所を決めるということであれば、一番の望ましいのはアンケートであると思う。

住民 意見を集約して決めるといっても、振り出しのようなものであるので、最終的にはアンケートで決めたほうが、教育委員会も楽であると思うし、住民も納得をする。

教委 教育委員会でもアンケート調査について検討したが、各家庭に調査表を配り、関心を持っていない人もいるので、そのアンケート調査が正しいものになるのか懸念もし、各自治会に説明会を開催し、一人一人の意見を聞く中で、判断していきたいという結論に達した。アンケート調査という意見もありましたので、持ち帰らせていただき検討させていただきたい。

住民 最初、人口が減っている中で、なぜ統合しないのかと思った。笛南中の西側の土地に集約できて良いのではないかと思った。

住民 教育委員会だけで考えていると良くない面もあり、白井や浜地区周辺の避難場所として小学校も考えると思うが、避難場所について浸水2m～5mというような場所は避難場所となり得ないと思う。

液状化についても危険度大ということであり、学校は良くてもそこまでいけないのではないかと思う。こういうことも真剣に検討しているのかという思いもあり、もっと中道の北地区のまちづくりを総合的に考えてほしい。

住民 次世代を背負う方の意見を大事にしてもらいたい。共働きが増え、人口減少が進む中で、どのようにしていくのか、どこに建てていくのかということは、若い人達の意見を大事にしてい
く必要があると思う。

住民 学校建設は、財政的にも多額のお金がかかると思うが、統廃合が進んでいる中で新しい小学
校を建てる。建てたものを取り壊す、または、そのままにしておくという現状も見られること
もあるが、本当に良いものを建てれば壊さなくて良い。将来を見据えて建設すれば壊すことは
ないので、今現在何が大事か考えてほしい。シンボルになるようなものをつくってほしい。

住民 北側のほうが良いという人はどのくらいいたのか。住民説明会でもいたのか。

教委 どのくらいいたのかは把握していない。それを把握するために各自治会の説明会を行なっ
ている。この候補地案で良いという人はいた。しかし、回を重ねるごとに意見が出ているのは、
ここではないところという意見が占めてきた。

教委 今後については、各自治会を回り意見を集約検証し、市長とも協議を踏まえる中で移転先を
決定していきたいと考えている。

6 閉会